

TDD にまつわるパターン

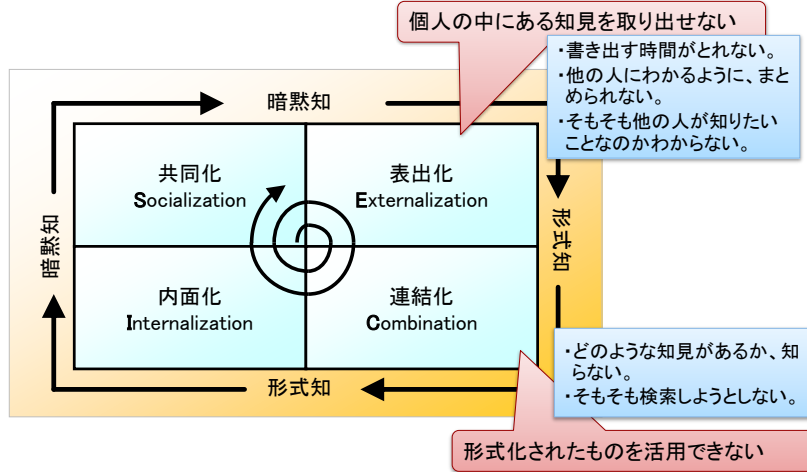
～体験しようパターン／アンチパターンの発掘～

永和システムマネジメント

天野 勝

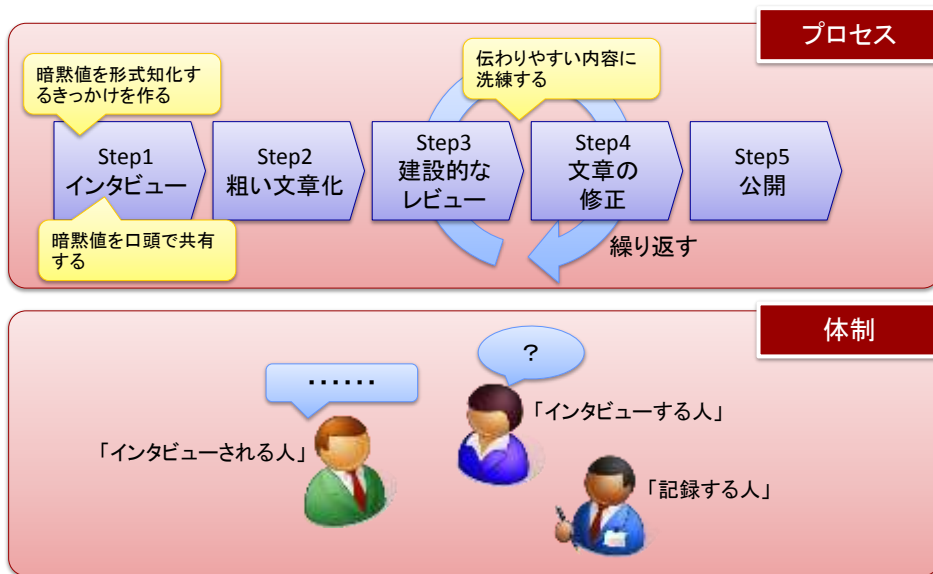
家永 英治

SECI モデルと現実的問題



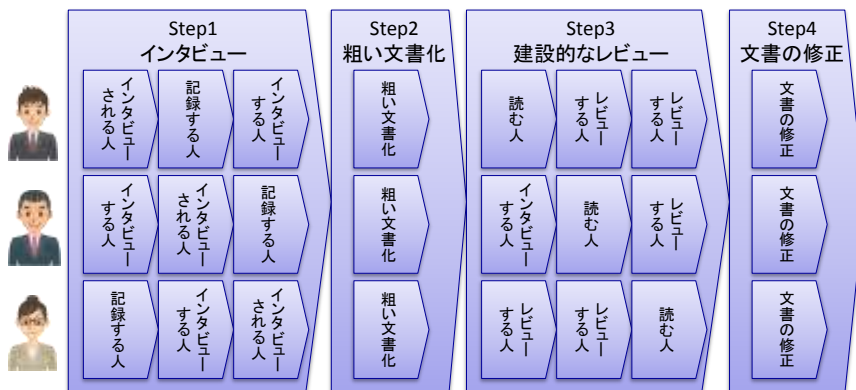
参考:『知識創造企業』野中、竹内(1996)

提案する方法



PLoP(Pattern Languages of Programs)で行われている、Writers Workshopを参考にしています

本日の進行



演習の進め方

Step1: インタビュー

- (1)3人のグループになり、「インタビューされる人」「インタビューする人」「記録する人」を決めてください
- (2)TDD に関して「うまくやれたこと」「工夫していること」「自慢したいこと」「失敗したこと」「うまくいっていないこと」などの、話すことを決めてください
職場での話に限定しますが、難しい場合はプライベートな内容でもよいです
- (3)インタビューする人は、インタビューする人から話を聞き出してください[7分間]
インタビューする人は、「あいづち」「うなづき」「うながし」をする
注意「否定しない」「奪わない」「押し付けない」
記録する人は、各項目に分類しながらにキーワードをメモして行ってください

3回ローテーション

Step2: 粗い文章化

- (1)ワークシートを、インタビューされた人に渡します
- (2)インタビューの記録を参考に、どのような内容をまとめるかを考えてください
取り上げるキーワードに印をつけてください
- (3)ワークシートの右欄に、パターン¹形式で文章化します
あとで、レビューしますので、まずは粗く全体を書いてください

	パターン	アンチパターン
【名称】	パターンの名称	
【状況・文脈】	何とかしたい状況が発生する場面	
【問題】	解決したいやっかいごと	
【フォース】	その施策を採用する理由	
【施策・結果】	問題を解決するためにすること それによる 良い 結果	状況を変えるためにすること それによる 悪い 結果

Step3: 建設的なレビュー

- (1)パターンを書いた人が、それを読みます[2分目安]
書かれていないことを、補足する必要はありません、書いていることをそのまま読みます
- (2)その他の人が、パターンについて「**建設的**」に意見を述べます[4分]
「より良い内容に」「より伝わりやすく」
否定的な意見や、誤字脱字のような些細なものは控えめに
パターンの別名も考えてください
パターンを書いた人は、発言禁止
質問された時は、答えてよい
ただし、質問への回答以外は話さないこと

3回ローテーション

Step4: 文章の修正

- (1)レビューでもらった意見をもとに、文章を修正する

¹ 特定の条件で頻繁に発生する問題へ解決策。さらなる詳細は、こちらをご覧ください
<http://sssslide.com/www.slideshare.net/kkd/pattern-canvasprimer-30135862>